



Kano H. photography

—動画で学ぶ—

画像編集

～Lightroom～

Presented by

Kano Hayasaka



A decorative header featuring a grey square and a pink square overlapping on the left, and a gold butterfly on the right, all set against a background of thin, curved lines.

# 目次

1

画像編集の前に

2

*Lightroom*の基本

3

*Lightroom* 編集方法

4

*Lightroom* 書き出し設定

5

*Lightroom* その他

6

*photoshop*との連携

7

色の再現について

The background features a light pink and white color palette. On the left, a golden butterfly is positioned above a grey square. A cluster of small, semi-transparent squares in shades of pink and grey is scattered in the upper left. A large, tilted square containing a pattern of these small squares is located in the lower right. A series of soft, wavy lines in light pink and white sweep across the middle of the page.

# 1. 画像編集の前に



# デジタル画像形式



## データの基礎知識 ウェブvs印刷の違い

	単位	カラーモード	解像度
DTP	mm	CMYK	350dpi
WEB	pixel	RGB	72dpi

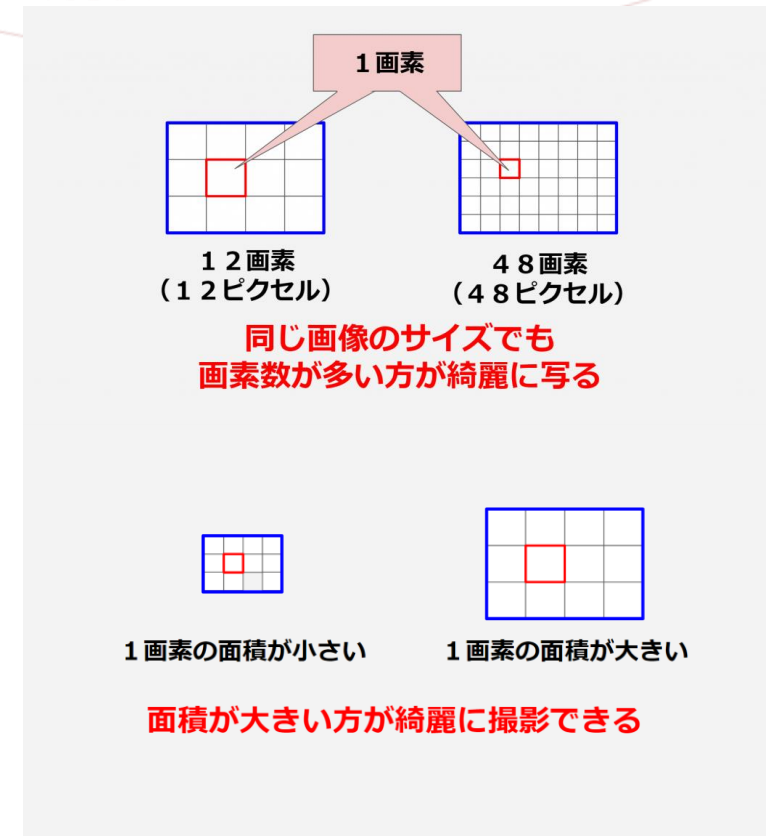
- DTP … デスクトップパブリッシング。 →PC使った印刷物作り
- Pixel … 色情報を持つ最小単位。
- 画像解像度 … 1インチあたりのドット数。dpi。
- CMYK … シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック。 →印刷物、プリンター
- RGB … レッド、グリーン、ブルーの加法混色。  
→光の三原色。混ぜると白。デジカメモニター





# 有効画素数

- 今のカメラ2000万画素以上
- 同じサイズなら、細かいほうが決め細かい描写になる。  
→ 大きくプリント可能。  
※ただブレが目立ちやすい。
- 画素数が増すほど1画素で獲得できる光の情報量は小さい。  
1画素で獲得できる光の情報量＝常用ISOの幅に反映。  
(1画素当たりの光情報量が増えるほどISOあげても綺麗)  
→ISOあげる撮影に有利。





# ピクセル計算方法



## ピクセルの計算の仕方

例)) 全紙 (560mm × 457mm) にプリントするのに必要な画素数を割り出す。

① まずインチサイズに直す。

全紙は約22インチ × 18インチ

1インチ = 25.4mm

$560 \div 25.4 = \text{約}22\text{インチ}$

$457 \div 25.4 = \text{約}18\text{インチ}$

② 350dpiで書き出すと何ピクセルになるか計算する。

350dpiで印刷すると…

$7700 \times 6300 = 4851\text{万画素必要}$

350dpiとは…

「1インチ350ピクセル」という意味

$22\text{インチ} \times 350\text{dpi} = 7700\text{pixel}$

$18\text{インチ} \times 350\text{dpi} = 6300\text{pixel}$

※LR書き出しの際の設定で画素数を指定する。







# 編集に対する考え方



料理に例えると…

- 撮影とは何か？ … 材料集め
- 編集とは何か？ … 調理

料理人の腕が試されるのは…

**材料集め以上に調理方法！！！！**

自分らしさ、自分色を出すのは画像編集で！

プロの現場

RAW撮影→現像(編集)→納品 (※例外もあります)



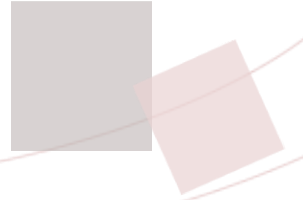
The background features a light pink and white color palette. On the left, a golden butterfly is positioned above a grey square. To the right, a tilted white square contains a pattern of small grey and pink squares. A large, wavy, light pink ribbon-like shape flows across the middle of the page.

## 2. *Lightroom*の基本





# Lightroomの基本



## LRの特徴

- 非破壊編集
- 上書き保存しなくてよい
- いつでも編集途中に戻れる
- 管理が効率的

## カタログとは？

- 百科事典の索引のようなイメージ
- 写真情報のデータベース





# Lightroomの基本



## 設定の仕方

- ① 写真用フォルダを作成 … LR Picture
- ② カタログ用のフォルダを作成 … LR Catalog

※デスクトップPCなら両方My pictureに。  
ノートPCなら写真用は外付けHDDに。

### カタログ新規作成

②のカタログ保存フォルダを指定。  
ファイル名は好きにつけてよい。





# Lightroomの基本

## ファイルの取り込み

- SDカードを指すと取り込む画面になる。
- 既に取り込み済の写真をカタログに読みこむには、**【ファイル】→【写真とビデオを読み込み】**



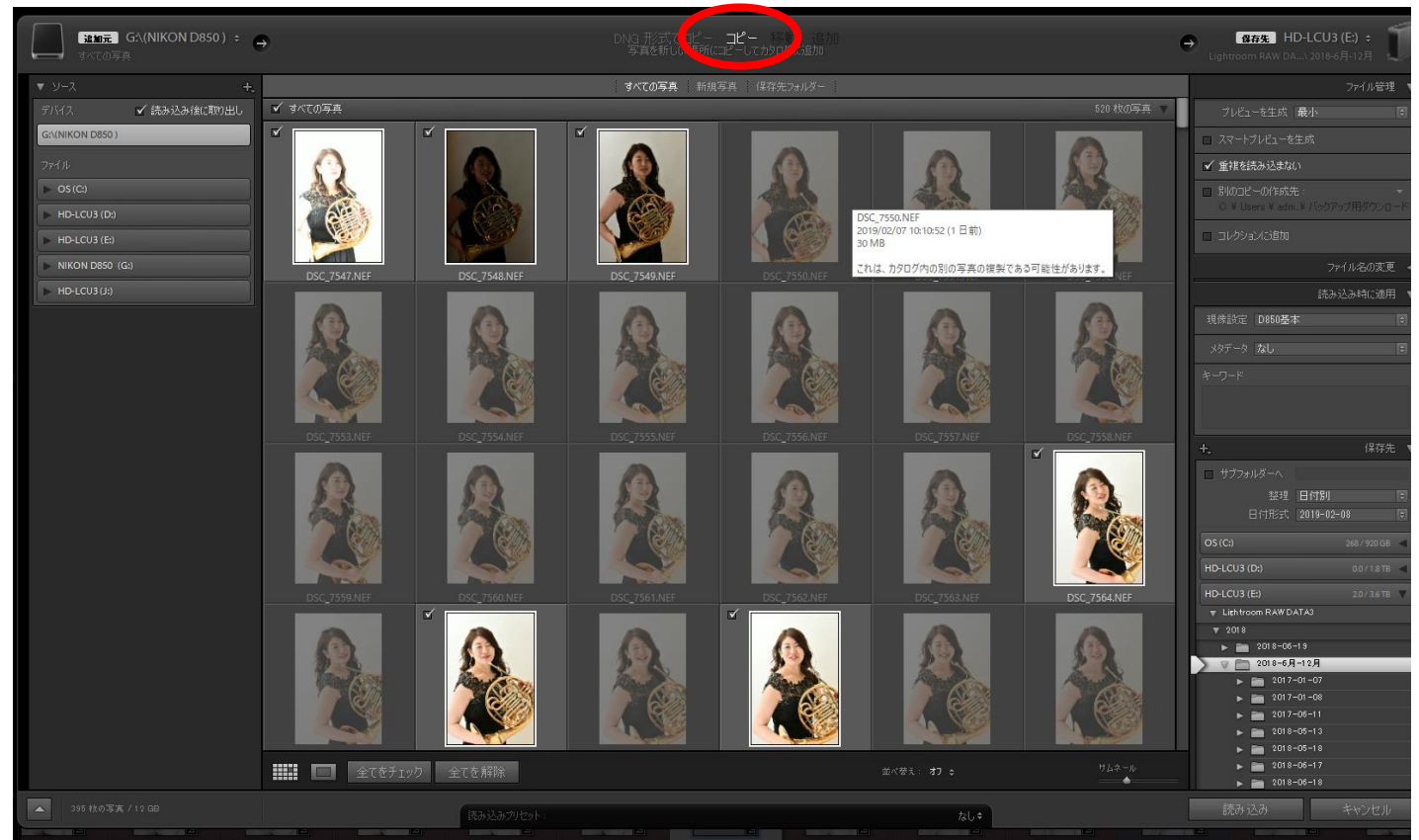


# Lightroomの基本

## ファイルの取り込み

コピーになっていることを確認

- コピー (追加はNG。写真保存されず)
- 「重複読み込まない」を選択 (デフォルト)
- 日付別でとりこみがおすすめ  
2024/2024-08-06
- 保存するフォルダは  
最初に作ったLRPictureファイルを指定





# Lightroomの基本



## フォルダの管理

- 名前はキーワードで入れる(検索)  
例) プロフィール紅葉〇〇公園

キーワードを入れるコツ  
検索するかもしれない項目すべて！

- 変更(名前の変更、写真の移動など)  
すべてはカタログ上で！





# Lightroomの基本



## フォルダの管理

### 管理画面

「ライブラリ」「現像」モジュール

- ライブラリ : 取り込み&書きだし
  - 現像 : 編集画面
- ※それ以外のモジュールは基本使わない





# 3. *Lightroom* 編集方法





# Lightroom 編集の流れ



## ① 写真を選別する

写真の便利な選別方法

ショートカットキー

赤-6 黄-7 緑-8 青-9

※Kanoのやりかた

- ① いらないものは緑、捨てないけど特によくもないものは黄色、いいものは赤
- ② 緑を一括消去
- ③ 赤を表示して、すごくいいものだけ青に





# Lightroom 編集の流れ



## ②編集を始める

最初にどう仕上げたいのか明確なイメージを持つ

- ①明るさ（露光量）
- ②コントラスト（明暗差）  
コントラスト、シャドウ、ハイライト  
白レベル、黒レベル
- ③色（WB, 彩度など）
- ④線（明瞭度など）

ちゃんとどう仕上げたいのか  
ゴールが見えていないと  
編集はできない。





# Lightroom 基本編集方法

## 基本編集機能

### ①基本の補正

- 露光量 :  
ハイライト : そこそこ明るい部分の明るさ変更  
白レベル : すごく明るい部分の明るさ変更  
シャドウ : そこそこ暗い部分の明るさ変更  
黒レベル : すごく暗い部分の明るさ変更

### 【効果的な使い方】

- 白飛びしてしまった写真はハイライトを下げる
- 透明感を出したい時、白レベル上げる
- 写真に締まりを出す時、黒レベルを下げる
- 影をおこしたい時、シャドウをあげる

※バランスよくするには・・・

- ◆ 白レベルをあげて、ハイライト下げる
- ◆ 黒レベルを下げて、シャドウをあげる



# Lightroom 基本編集方法



## 基本編集機能

### ②コントラスト

### ③WB (ホワイトバランス)

- nikonカメラは黄身が強いので青を足す
- 緑かぶりはマゼンタを足す
- ポートレートは青を足すと透明感アップ

### ④彩度・自然な彩度

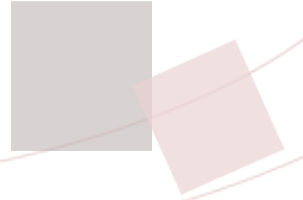
自然な彩度は不自然にならないのでおすすめ。

※寒色系が鮮やかになる





# Lightroom 基本編集方法



## 基本編集機能

⑤切り抜き・角度補正

⑥明瞭度

女性の写真は下げるとほんわか美肌に。

⑦レンズ補正

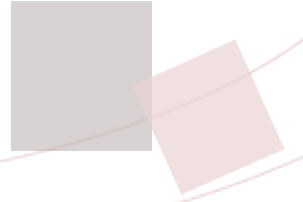
## 同期の方法







# Lightroom 基本編集方法



## 色ごとの編集機能

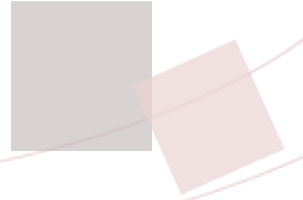
### 【色相】

- 色相は、赤、緑、青、などの色の性質。色の種類。
- それぞれお互いが連続してつながりあって色相のグラデーションになっている(色相環)。
- この色相環の反対、向かい合わせの色が補色。
- 被写体を目立たせたり写真全体のイメージを印象付けたりする。  
例) 緑の森の中に赤色のワンピースを着たモデル





# Lightroom 基本編集方法



## 色ごとの編集機能

### 【輝度】

- 色の明るさの度合いのこと。輝度を上げると明るくなり、下げると暗くなる。

### 【彩度】

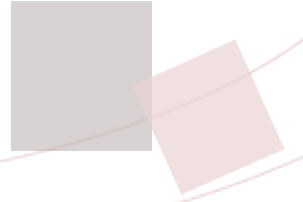
- 「鮮やかさ」のこと。彩度が高いと鮮やかで派手な色に。







# Lightroom 基本編集方法



## 色ごとの編集機能

### ●色相の調整

もっと引き立てたい色があったり、色を抑えたり時もあります。  
そういう色を調整して自分好みの色に変化させていきます。

### ●彩度の調整

各色それぞれ別で色の鮮やかさが変わります。  
基本的には、色を抑える調整で使うと調整しやすいです。

### ●輝度の調整

各色それぞれ、別で色の明るさが変わります。





# *Lightroom* 基本編集方法





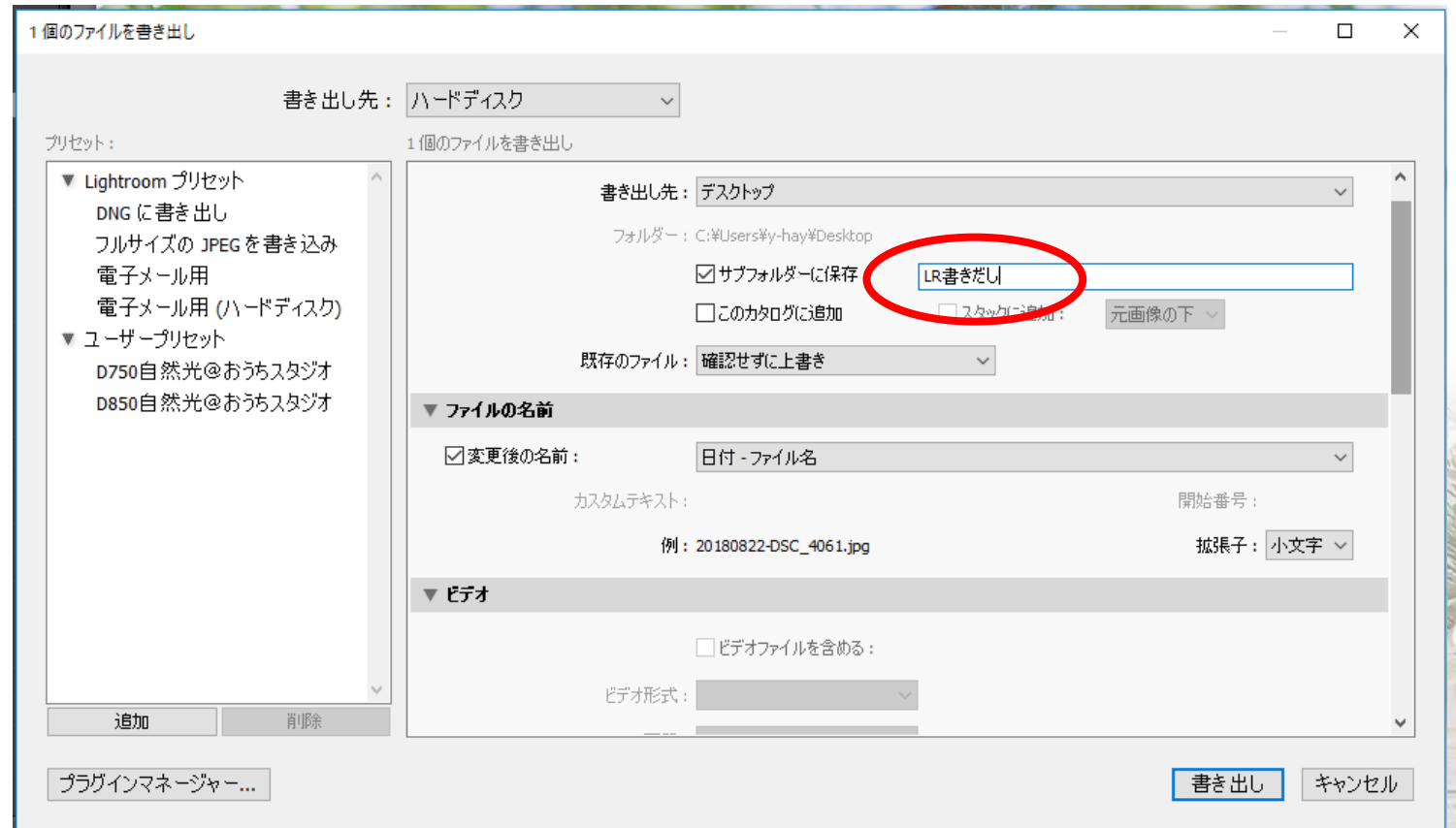
# 4. *Lightroom* 書き出し設定



# Lightroom 書き出し設定

## 書き出しの設定

- 書き出し場所の設定  
※任意のデスクトップ  
フォルダなど

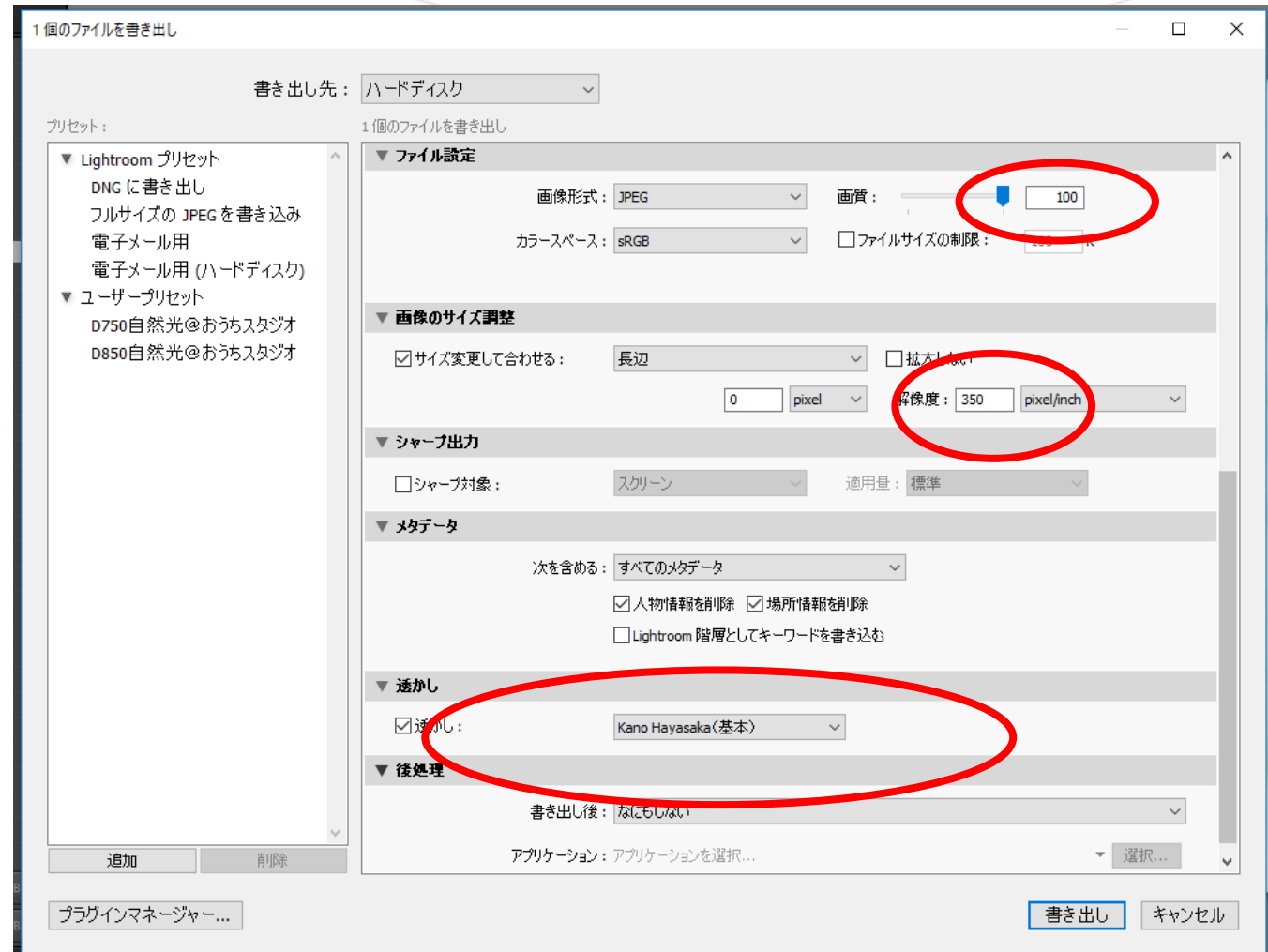




# Lightroom 書き出し設定

## 書き出しの設定

- 画質は100が綺麗 (60~80をすすめる人も)
- 解像度はプリントするなら350dpi/inch
- 最高の画質で書き出す場合は、サイズ変更して合わせるのチェックをはずしておく。
- そうでない場合は長辺を指定してプリント対応可能なサイズにする。
- 撮影情報削除。
- 自動署名の設定方法 (透かし)



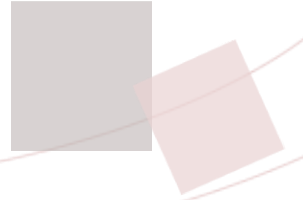


5. *Lightroom* その他





# Lightroom その他



その他の便利な機能

スマートコレクション







# Lightroom その他



## かの使用例

- データを取り込む
- キーワードを意識してファイル名をつける。
- データを選別する。
- 1枚目をカメラのプロファイルを反映して設定コピー
- 編集開始。  
だいたい触るのは、露出、WB、ハイライト、黒レベル、  
コントラスト、彩度程度。
- 同じ場所同じ光で撮影した一連の写真は設定をコピー
- 編集し終わったら最初から見直し。
- 書き出し





6.

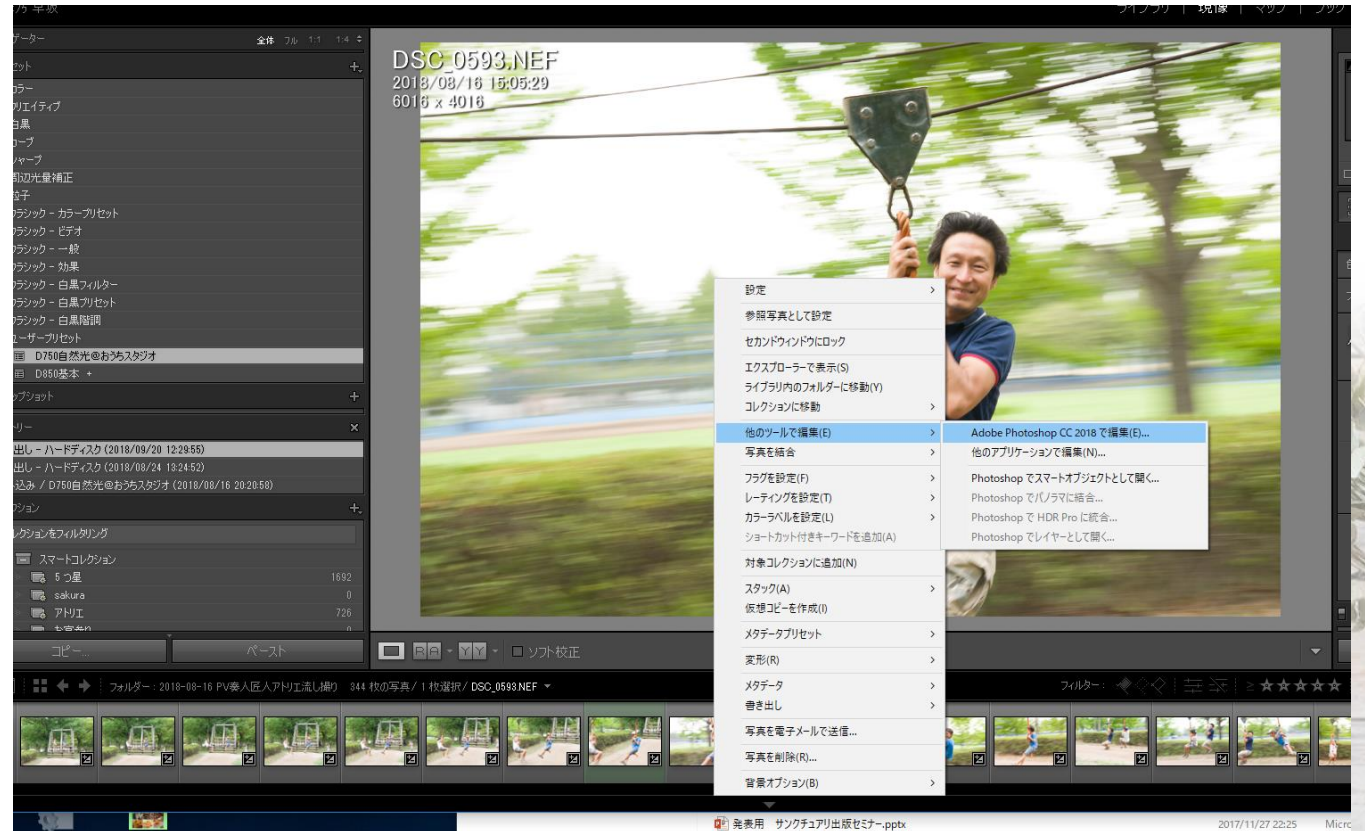
*Photoshopとの連携*



# Photoshopとの連携定

## photoshopとの連携の仕方

- ①現像モジュールで右クリックする
- ②「他のツールで編集」→PSを選択する
- ③ PSが開いたら編集して保存する
- ④LRにPS編集画像が自動で保存される。





# Photoshopとの連携定



LRからPSを開き、編集して保存したあと、もう一度編集する場合

## ①LR調整でコピーを編集

LRで行った調整が適用されPSに展開される。  
前回PSで加工した際に、レイヤーを残したままの場合、  
レイヤーが統合され、レイヤー編集ができなくなる。

## ②コピーを編集

**安全、戻れる、が、容量が増える。**

LRの調整がPSでは無効になって見えるが、PSのレイヤーが残っている。  
PSに連携前の画像はLR上でコピーされ別写真として残っている。  
PSで加工をし、保存を行うと元画像が変更され、LR調整が適用される。  
コピーが作成され、PSで追加加工する前の状態を残したままにできる。



# Photoshopとの連携定



LRからPSを開き、編集して保存したあと、もう一度編集する場合

## ③元画像を編集

すこし安全、すこし戻れる、容量が増える。  
LRの調整がPSでは無効になって見えるがPSのレイヤーが残っている。  
PSで加工をし保存を行うと元画像が上書きされLR調整が適用される。  
PSで追加加工する前の元画像の状態は残らない。  
LR調整は残したまま、PS加工した元画像が上書きされる。  
LR再編集が可能、元画像は戻れない。  
元画像の上書き保存。







# Photoshopでの補正



Photoshopで出来る例





# 7. 色の再現について





# 色の再現について

## 正しい色で撮影するための工夫

①撮影前にできること。

- ・ストロボを使う
- ・**WBプリセットマニュアルを使う**



②編集でできること

- ・カラーチェッカーの利用とWBのスポイト機能を利用  
もしくは・・・
- ・カラーチャートでマニュアル色合わせ





# 色の再現について

## X-rite カラーチェッカーパスポートの利用

- ①ソフトをインストールする
- ②ストロボを使って、正確な色でカラーチャートを撮影する
- ③カラーチャート画像をLightroomに読み込む
- ④Lightroomでその画像をそのまま書き出す。  
(書き出し先をX-riteプリセットを選択)
- ⑤DNGプロファイル名をつける(例)D850スタジオ)
- ⑥書き出しする。←これで設定が完了
- ⑦再起動する
- ⑧画像を読み込む際、現像モジュールのAdobeColorから作成したプロファイルを選択。

★このプリセットを読み込み時にいつでも適応するように、プリセットマニュアルを作成するのがお勧め！

※本来は撮影毎にプリセットをつくる必要あり。





# カラーマネジメント -モニターキャリブレーション-

モニターのキャリブレーションとは？

モニターは経年劣化する。

例) 温度を5000K、明るさを100cd/m<sup>2</sup>に設定したモニターが  
経年変化で、数か月後には、4500K、90cd/m<sup>2</sup>

→ 元の状態に戻すために  
定期的なキャリブレーションが必要

目安:200時間に1回程度の頻度

おすすめの商品

